

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年2月28日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部・国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年2月11日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	シェフィールド大学(日本語名) University of Sheffield(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年9月～2024年2月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名:社会科学部・地理学科 現地言語での名称: Faculty of Social Sciences・Geography <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～2 月上旬 2 学期: 2 月上旬～6 月中旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	約 3 万人
創立年	1905 年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (ポンド)	日本円	備考
授業料	0	0円	協定留学のため
宿舍費	3206	約 600,000円	
食費		約 150,000円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	50	約 9,000円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		約 60,000円	形態: 大学が義務付けている保険のみ
渡航旅費		約 280,000円	
ビザ申請費	0	0円	観光ビザのため
雑費		円	
その他	66	約 12,000円	洗濯・乾燥
その他		200,000円	旅行費等
合計		1,311,000円	



渡航関連

渡航経路

往路 出発地:成田空港 目的地:マンチェスター空港 経由地:ドバイ空港

復路 出発地:マンチェスター空港 目的地:成田空港 経由地:ドバイ空港

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:エミレーツ

料金:268,960 円

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社: 料金:

復路 航空会社: 料金: ∴合計:

航空券購入方法

旅行代理店(店名:明大サポート)

インターネット(サイト名:)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

学生寮(寮の名前: Cratcliffe Apartment) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

大学の斡旋(メールで案内が来ます)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

Endcliffe の中でも、5 分ほど大学のキャンパスに近い場所にある寮です。最も近いキャンパスは徒歩 10 分程度の距離ですが、Student Union や図書館などがありキャンパスが集中している場所に行くには 20 分～25 分程度かかります。City Center に行くにも徒歩 30 分程度かかりますが、近くにスーパーや調理器具を売っている店、カフェやレストランもある程度あるので生活用品や食料品の調達に関して特に困ることはなかったです。Endcliffe にある The Edge や City の近くに比べて落ち着いているので、夜に騒音などもなく過ごしやすかったです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大使館からのメールをチェックしていた。シェフィールド駅周辺は夜に1人で歩かないように気をつけた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の部屋の中でも接続が悪い部分が一部あった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で使っていた銀行口座に日本の両親から送金してもらっていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

薬は自分に合ったものを持っていくと良い。お米を炊くための容器は日本から持参することをお勧めします。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
60 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Sustainable Development and Global Justice	持続可能な開発とグローバルな正義
科目設置学部・研究科	Social Sciences・Geography
履修期間	秋学期
単位数	20 credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とセミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 115 分と 52 分が各 1 回
担当教授	Juan Kanai, Dorothea Kleine
授業内容	主に国際支援や SDGs をテーマとして扱っており、セミナーでは講義で教授が説明した内容を受け、グループになってディスカッションをします。
試験・課題等	中間: 1500 words のエッセイ 期末: 対面筆記試験(5 つのお題の中から 2 つ選びエッセイを書く、持ち込み不可)
感想を自由記入	様々な国際支援の形について学ぶことができます。これまでの支援の歴史についても学び、批判的に考えさせられる内容が多いと感じました。 期末試験のエッセイは 90 分間で 5 段落のエッセイを 2 つ書くというものだったので、しっかりと授業の内容を理解し、自分なりの考えがないと書くのが難しい内容だったと思います。



履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Men, Feminism and Gender Relations	男性、フェミニズムとジェンダー関係
科目設置学部・研究科	Sociological Studies
履修期間	秋学期
単位数	20 credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とセミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に112分と52分が各1回
担当教授	Briony Hannell
授業内容	LGBTQをはじめとした様々なジェンダーのあり方について学びました。セミナーでは、講義の内容に関連する資料を事前に読み、予め配布されたスライドに載っている設問についてディスカッションをしました。
試験・課題等	中間:5分のvlogまたはポッドキャストの提出 期末:中間課題の振り返りエッセイ1500 words
感想を自由記入	スポーツやメディアにおけるジェンダーやグローバリゼーションについても学ぶことができました。毎授業のスライドは枚数も文字数も多く内容が濃いので予習必須です。課題の説明は非常に丁寧にしてくれるので、初めてvlogを作りましたが特に困ったことはありませんでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Environment and Development of the Japanese Islands	日本列島の環境と発展
科目設置学部・研究科	East Asian Studies
履修期間	秋学期
単位数	20 credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とセミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が2回
担当教授	Peter Matanle
授業内容	地政学的な観点から日本のこれまでの発展や、今後の課題について学んでいます。指定された動画や論文などの予習をし、セミナーでは講義内容の補足やディスカッションが行われています。
試験・課題等	中間:なし 期末:3000 wordsのエッセイ
感想を自由記入	既に小中高で習ったような内容も出てきましたが、日本で何度も研究をした経験のある教授なので、当然自分の知らなかったような内容も出てきて興味深かったです。日本の気候や環境問題についてのお話が多く、新たな問題意識を持つきっかけにもなりました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

マイナビ、M-Career、ワンキャリア、OpenWork

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

就職活動中です。主にメーカーを受けています。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

3年の6月に企業のマイページの登録が始まったらプレントリーし、興味のある企業はインターンシップに申し込んでESを書く練習やテスト勉強、自己分析をある程度しておくと思います。留学に行くことで周囲に遅れをとるのではないかと不安が自分の中にはあったので、渡航前に一つでも説明会やインターンシップに参加し、就活についてなるべく知っておくようにしました。

留学中は留学先でしか過ごせない時間を大切にしたいだったので、あまり就職活動はしていませんでした。とはいえSPIの対策本などは持っていき、テストの対策は時折していました。また、興味を持った企業に関してはweb説明会に参加したり、焦りが出てきた時はインターンシップにも申し込むようにしていました。時差の関係でweb説明会やインターンシップが深夜から早朝などの時間帯になってしまうことが多いので、参加する場合は体調やスケジュールを見ながら無理をしないことが大切です。

帰国後は少し休んだ後にしっかりと切り替えて就職活動を再開すれば大きな遅れをとることもないのかなと個人的には思います。私の場合は帰国直前に旅行を目一杯楽しんだおかげで切り替えやすかったです。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	TOEFL 受験、留学申し込み
留学開始年	1月～3月	明治大学の留学前オリエンテーション等
	4月～7月	航空券の購入、滞在先の確保
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	中間試験
留学/帰国年	1月～3月	期末試験、留学終了
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	



留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

この留学先を選んだ理由：

私は第二言語を履修しておらず、主要言語が英語以外の国に留学してしまうと中途半端な語学力で帰ってきてしまうのではないかという不安が自分の中にあっただけ、それならば得意な言語をもっと伸ばしたいと思い英語圏の国にまらずに絞りました。その中でも既に訪れた経験のある北米は候補から外し、ずっと憧れを抱いていたヨーロッパに決めました。実はイギリスは他のヨーロッパの国々に比べて憧れを抱きすぎている国だったので、期待しすぎてがっかりすることもなく、ありのままを楽しめる国だと思ったこと、そしてイギリスは語学や成績の要件が比較的に高い国なので倍率が低そうなことを理由にイギリスに決めました。

シェフィールド大学に決めた理由は、過去の留学報告書を読んだ際に、学業も遊びもきちんとやる学生が多いと書かれている方がいたので、勉強を頑張りつつ遊びも楽しみたいと思っていた自分に適していると感じたからです。また、募集要項を見るまでは「Sheffield」という地名すら全く知らなかったのが、先入観なしで自由にものごとを感じ取れる場所だと思ったこと、そして主要な観光地ではないからこそローカルなイギリス文化を感じられるだろうと思ったことも理由のひとつです。

シェフィールド大学について：

1 学期間しか留学していませんが、授業の質は非常に高いと感じました。学習熱心な学生と丁寧で優しい教授で溢れており、Student Union や図書館の他にも様々な施設があり、学習環境が整っている場所です。気分によって学習施設を選べたことが私にとっては良い気分転換になりました。

学生は本当に多様な背景を持つ人たちでいっぱい、今までに出会ったことのなかったスリランカやシリア出身の友人などもでき、貴重な経験になりました。

また、シェフィールド大学は他の方も書かれているように学生主体の活動やイベントが非常に多く多岐に渡るため、必ず自分の興味関心に合ったものが見つかるはず。特定の部活動や society (サークル) に属していなくても単発で楽しめるものがほとんどなので、自分のやる気とチャレンジ精神次第でどのタイミングでも新しいことに挑戦し楽しむことが可能です。私は Japan Society にしか所属していませんでしたが、Bake Society (お菓子作り) や Tea Society (紅茶を飲み、ビスケットを食べながら談笑するサークル) などにも足を運びました。

ケンブリッジやヨークをはじめとしたイングランド内の各場所に貸切バスで連れて行ってくれる日帰り旅行のプログラムも多数あったので、よく利用していました。価格も非常に易しいうえ、ちょうど送り迎えの地点が私の住んでいた寮の目の前だったので、早朝に出発する際や遊び疲れた時の帰りは非常にありがたく感じました。

ムービーナイトやカップケーキデコレーションなど、寮で開催される無料のイベントも毎日欠かさずあるので、毎週末にウェブサイトをチェックして予約し、フラットメイトと週 2 回程度のペースで参加していました。

シェフィールドのまちについて：

人があたたかいです。イギリス人は皮肉屋だというイメージが自分の中であっただけで少しだけ身構えていましたが、実際は親切な人ばかりでした。渡英したてのときは交通機関に関してわからないことが多かったのが乗客やバスドライバー、チケット売り場のスタッフに質問してばかりだったのですが、丁寧に説明してくださるばかりで嫌な思いは一度もありませんでした。

ローカルな飲食店も沢山あります。看板から内装の飾り付けまで全て店主が手作りでこだわりのあるカフェでアフタヌーンティーをしたことが最も印象に残っています。

唯一不便だと感じたことは、バスや電車が時間通りにこなかったりキャンセルされることが少なくないということです。これはヨーロッパ全体において言えることなのかもしれませんが、キャンセルが多いことはドライバーや車掌さんが働く上での権利をきちんと主張しているからその文化なのかなとも思いました。とはいえ、予約していた電車が当日キャンセルされてフライトに間に合わないかもしれない状況に陥った時や、ロンドンからシェフィールドへ帰るためのバスが発券数時間前にキャンセルされ、宿泊先もないのに帰れないかもしれなくなった時は焦りました。

留学全般について：

留学中は様々なことに挑戦し、失敗してなんぼだと思います。最初は知らない人しかおらず孤独に感じる場合や、いちゃから関係性を築くことに疲れてしまう場合も当然あります。しかし自分にとって真新しい環境だからこそ、これまでに挑戦してみたくてもできなかったことや、留学生生活を過ごしていく中で新たに興味を持ったことに気軽に飛び込めるという大きなメリットがあります。講義やセミナーでのディスカッションのみならず、友人との会話の中でも自分の言語力不足

や勉強不足を感じてしまう場面も私にはありましたが、そういった経験こそが留学後に少しでも「自分変わったなあ」と感じるにあたって大切なことだと思います。帰国前後でTOEICの点数が大幅に上がるとかそういった目に見える大きな変化ではなくても、些細なことでも新しいことを学んだり、自分や他人について知ったり、価値観が変わったら大成功の留学です。

これから留学を目指すみなさんも、授業やアルバイト、就職活動などと留学準備を並行して行わないといけず大変な思いをするかもしれませんが、渡航前の準備はしっかりとし、あとは渡航さえしてしまえば行って後悔はしないと思うのでぜひ挑戦してみてください！

